

令和6年度第2回酒田市社会教育委員の会議【概要】

日 時	令和7年3月24日(月)午後1時30分～3時
場 所	総合文化センター412号室
出席者	委員9名(欠席3名) 事務局 酒田市教育長、教育次長、社会教育課長ほか5名
◆教育長あいさつ 今年は7月に大雨の被害もあったが、被災地域の児童の心のケアの事業として社会教育課で夏休みプロジェクションマッピングツアーを行い、カレー作りなどを行った。参加した児童に好評だった。市立図書館では、全国の図書館を使った調べる学習コンクールで「活動賞」を受賞した。本市単独でなく遊佐町と一緒にやったことや、JR 東日本や加茂水族館との連携が認められた。 「第4回 Sport in Life アワード」自治体部門優秀賞を受賞したが、図書館内で開催しているモルックやボッチャなどが生涯スポーツにつながるものとして評価された。 本日の会議では、次年度につながるように活発な議論をお願いする。 ◆資料説明(事務局) (資料2)R7年度については、幼児・児童・生徒向けに重点を置いている。その分野の事業について、予算を厚くして取り組む。酒田っ子根の力育成プロジェクトについては、市出身の吉野弘氏の詩の朗読会、ものづくり関連事業、自然体験事業に取り組む。 (資料3)市生涯学習推進計画の作りや指標について再設定する。市の他課の関連事業については、生涯学習に特化したものに絞り、成果指標を設定し、進行管理を行っていく。 ◆協議(1)令和7年度予算の概要について (2)酒田市生涯学習推進計画について ○委員 後期計画では、客観的な評価のための評価方法を検討することだが、講座の評価の目標数値の設定は難しいと思う。参加者アンケートは、その講座のために参加しているので満足度が高く出る傾向がある。客観的な評価方法、目標数値について、他市の状況など研究しているか。 ○事務局 成果指標の設定は大切なことだが、現在はアンケートで満足度をきくこと程度しかない。他市の状況などはまだ確認していない。 ○委員 酒田市生涯学習推進計画の目標のために、この講座が必要だという根拠を出して、その講座の意義を強めることが重要なのではないか。資料では参加者の目標人数を設定しているが、人集めが目的ではなく、事業の根拠と成果をはっきりさせることが大事である。 ○事務局	

後期計画の施策の柱を見直し、評価をどうしていくか検討して、次回の会議で示したい。

○委員(座長)

以前に市の外部評価委員を務めた際、各課長からヒアリングを受けたが、目標設定は理想的な数値だったり、現実的な数値だったりしてニュアンスがだいぶ違うと感じた。担当の思いや経験で違ってくる。

○委員

子育て支援の「にこっと広場」を20年近く運営してきたが、目標設定は本当に難しいと感じている。市街地に来られない人向けに黒森地区で出張ひろばをしたら、鶴岡市や三川町や遊佐町からも来て、距離の問題ではないと思った。春は来やすいかと思ったら、真冬にも大勢くるなど、全く読めない。講座に魅力があれば集まるかと思ったら、講座よりおしゃべりがしたくて来るということもあった。どこでも同じようなことをしているので、工夫が必要である。どんな人に来てもらいたいのか、という寄り添う姿勢が必要である。

○委員(座長)

里仁館の親子講座の様子を見てみると、昔と違って親同士が交流しなくなった印象がある。昔は、親同士がおしゃべりして仲良くなって、また次の講座にくることも多かった。

○委員

「にこっと広場」では、家に赤ちゃんしかいないような環境なので、おしゃべりしたくて来る人が多い。今は、ネットでつながっている人が多い。

○委員

コロナの影響もある。小学校では、昔と違って懇親会や飲酒の機会は少なくなった。学校によりますが、卒業祝賀会も無い学校もある。

○委員(座長)

今の若い親の世代は、交流になれていないのかも知れない。

○委員

地域性もあるかもしれないが、今は多くがSNSでつながっているという時代になっている。

○委員(座長)

自治会も人が集まらなくなり、何か物をあげるから来てください、と人集めをしている。コロナの影響かもしれないが、さみしいと思う。

○委員

高齢の自治会長が頑張って活動しているが、一般住民になかなか降りてこないことがある。自治会により温度差はあるかもしれないが、世代交代をどうしていくのか不安がある。自治会館もあまり利用されていない。コミセンが遠くて行けないという声もある。

○委員

図書館の指定管理を受けている図書館流通センターの概要を知りたい。

○事務局

東京の書籍販売会社で、全国で公共図書館の指定管理業務を行っている。3社のプロポーザルで選定した。ミライニの管理、観光案内や駐車場管理など幅広い業務を行っている。

○委員

職員は、地元採用か。

○事務局

館長は図書館流通センターの嘱託職員で県外から来ている。他の職員は地元採用であり、副館長が正社員、その他は契約社員とシェアタイム職員である。契約社員は、指定管理期間の5年任期の職員と任期なしの職員がいる。

○委員

関連して、我々は図書館から依頼されて毎週月曜日午前に、保育士2名をおいて保育室を開設している。利用が増えている。

○委員

夏休み企画のプロジェクションマッピングツアーは、被災地の松山や八幡の地域は遠く、交通手段がなくて参加できない子もいたのでは。家族は、災害の片付けで送迎も出来なかったと思う。

○事務局

保護者負担を減らすため、バスを出して各地の小学校まで迎えに行った。プロジェクションマッピングの開催日は以前から決まっていて、その日に合わせて災害後に急ぎょ企画したため、周知期間が短く、参加が少なかったと思う。友達や保護者のネットワークで申し込みがあるかと思っていたが、想定どおりにいかなかった。学校から1人の参加の子は、少しなじめない面もあったようだ。

○委員(座長)

これはいい企画だったと思う。子どもにとっては貴重な経験になった。豪雨災害で子どもたちへの対応は何かあったか。

○委員

校長会では、情報共有を行った。学校は避難所になったが、和式のトイレが多くて、高齢者が使いつらいという課題も出てきた。子どもたちへ防災の学習会も行った。

○委員

西荒瀬地区では、日向川の堤防が決壊して大きな被害があった。本来避難所は学校の体育館なのだが、熱中症の危険があるので初めからコミセンを開放した。朝から大勢避難してきた。

コミセンが長期間に渡って避難所となり、コミ振の事業が縮小や中止となった。人材が少ない中で、自然災害から地域コミュニティをどう守っていくか、難しい問題である。避難指示をどうするか、警報の出し方など、危機管理の体制を考えていかなければならない。今の災害の振り返りをしたいが、課題が多く大変である。

○委員

計画の基本目標に、「人づくり、地域人づくり」とあるが、我々青年会議所も同じ活動をしている。我々経済青年人ができることがあれば、ぜひお手伝いをしたい。我々は、酒田まつりの活動で高校生と関わっているが、我々のような世代と関わりを持つことで、Uターンするきっかけになれば、基本施策にある「持続可能なまちづくり」につながる。

○委員(座長)

高校生の感触はどうか。

○委員

楽しい大人と関わることで、「酒田って楽しいのかも」と感じて、県外の大学へ行く予定を山形大学や公益大学に変えた子もいるし、「酒田へ戻ってきて子育てするのも悪くないかも」と言う子もいる。

○事務局

地域の大人と関わることも大事だと思う。酒田まつりという文化を知るのも大事である。ありがたいお話をいただいたので、関われるように情報を共有していきたい。

○委員(座長)

吉野弘の朗読会は高校生が参加するが、それとは別に青年会議所とコラボしてもよいと思う。鶴岡市では、大雨被害はあったか。

○委員

大雨については、酒田市ほどの被害はなかった。

最近、子どもの不登校が圧倒的に増えているし、自殺者も増えている。何ができるか動いていて、先日も鶴岡市教育委員会と一緒に子どもの居場所づくりのネットワークの会議を行った。行政が動いて市民を巻き込む形より、市民が動いて行政を巻き込む形で、何かできないかと考えている。市民、民間ができること、行政ができることを合わせて、一緒に解決する道を見出したいと考えている。

先ほどの青年会議所がお手伝いしたいというお話と一緒に、行政と手を組みたいが、組み方が分からない。市民側は、いつでも手を挙げられる状態にある。お金が無いこともあるが、お金が無くても言われれば我々は動く。

不登校は増えているが、「学校へ行かなくて良い」と言う親が多くなっていると思う。「命を絶つ位なら学校へ行かなくてよい」という話とは別に、闇雲に「行かなくてよい」と煽る親が多くなっている。学校に問題がないのに、いたずらに学校批判する風潮が強くなっていると感じる。

○委員

実際、不登校は増えている。親が「学校に行かなくていい」と切ってしまうことがある。先生と親がコミュニケーションを取る機会が減っている。SR 会では月に1回、子どもの居場所づくりのボランティアをしている。

毎回楽しみにして通っている子がいる。来れば子ども同士の交流やボランティアの大学生との会話がある。それをきっかけに自信をつけて学校に戻ってくれたらいいと思っている。どこに相談していいか分からず悩んでいる親もいるので、そこへどう寄り添っていけるか考えている。

◆報告(1)第16回山形県社会教育研究大会について

(2)令和7年「二十歳を祝う成人の集い」について

(3)「第4次酒田市子ども読書活動推進計画」の策定について

(質疑なし)

以上